

Broaden your horizons ～さあ、視野を広げて!～

こんにちは。メディセレのしゃっちょう、児島恵美子です。

先日、武見敬三先生の勉強会に参加しました。65歳以上の世界人口の内訳は、1950年ではヨーロッパが多く、アジアは半数にも達していませんでしたが、2015年に半数を超え、50年にはなんと、6割以上がアジアという状況になるそうです。ある世界銀行の頭取が、アジアは金持ちになる前に高齢化が進んでしまったとおっしゃったとか……(涙)。

また、私が気になったのは死亡場所の割合です。

- 1951年：病院 9.1% 診療所 2.6% 自宅 82.5%
 - 1970年：病院 32.9% 診療所 4.5% 自宅 56.6%
 - 1990年：病院 71.6% 診療所 3.4% 自宅 21.7%
 - 2009年：病院 78.4% 診療所 2.4% 自宅 12.4%
- 介護老人保健施設 1.1% 老人ホーム 3.2%

60年の間に自宅で亡くられる方が激減し、2009年からは老人施設の増加が顕著です。死に場所の変遷によって、医療の変遷が見えますね。「死ぬときは家の畳で」から「病院のベッドで」が主流となりましたが、今後さらに高齢者施設のベッドが増えていくのでしょうか。特別養護老人ホームの施設数は90年時点で2,260でしたが、00年に4,463、11年に6,254と20年間で277%増加しています。

高齢化は進みますが、健康寿命（健康で活動的に暮らせる期間）が大切です。薬剤師として、支援できることはたくさんありますので、ともに頑張りましょう！

Medisere（メディセレ）代表取締役社長 児島 恵美子